

学位報告5  
別紙5-1

※事務記入欄

報告番号	第	号
学位記番号	第	号
授与年月日	年	月 日

Please fill in exactly.

履 歴 書

ふりがな 氏 名※1	めいだい たろう Furigana in hiragana 名大 太郎 Name in Japanese	外字の有無 ※2	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
氏 名 (英字: Block capital)※1、3	姓(Surname) 名(Given name) (Middle name) MEIDAI Taro Name (in alphabet: Block Capital)		
生年月日 (西暦で記入)	1993年 10月 10日 Date of birth (in AD)	性別	男 Sex
本 籍 地 (外国籍は国籍を記入)	愛知県 Nationality		
現住所	名古屋市千種区名大町17-5 フロウハウスD-403 Current address		
学位取得後の連絡先	【住 所】 名古屋市瑞穂区桜見町5-5		
	【電 話】 052-841-0000 【携 帯】 080-0000-0000		
	【Email】 meidai-taro@gmail.com 必ず連絡のとれるもの		
所属研究科名 (論文博士は論文提出研究科名)	理学研究科 Graduate School of Science		
所属専攻名 (論文博士は記入不要)	生命理学専攻 Division Division of Particle and Astrophysical Science, or Division of Material Science (physics)		
修了(予定)または満期退 学年月日 (論文博士は記入不要)	2021年 3月 25日 修了・短縮修了・満期退学		
学位論文題目	Experimental Study of ..... Title of the thesis. Current status is OK. When you change it, please inform it to Kyomu-Gakusei-Kakari immediately.		
学位論文題目翻訳 ※4	.....に関する実験的研究 If title is given in English, add the Japanese translation here.		
学位の種類	博 士 ( 理 学 )		
プログラム名 ※5	Title of the leading program (if you complete the leading program)		

※1 学位記は本履歴書に記載された氏名表記に基づいて作成します。わかりやすく明確に記入すること。  
※2 学位記氏名に外字(旧字体、異体字等)が使用されている場合は「あり」、なければ「なし」にチェックをしてください。 If your name is written in the diploma is an external character (ex, alphabet), check the box “あり”  
※3 英字氏名は、姓のみ全て大文字、後は最初の1字が大文字で残りを小文字で書くこと。  
※4 論文題目が外国語の場合は、日本語訳を必ず記入すること。論文題目が日本語の場合で、研究科の指示がある場合は、英語訳を記入すること。  
※5 リーディングプログラム修了(予定)者のみ記入すること。

名 大 太 郎      Name in Japanese

2015年 2月28日	韓国国立釜山大学校〇〇学部〇〇学科卒業
2015年 3月25日	名古屋大学理学部生物学科卒業
2016年 4月 1日	名古屋大学大学院理学研究科博士前期課程生命理学専攻入学
2018年 3月26日	同 上 修 了
2018年 4月 1日	名古屋大学大学院理学研究科博士後期課程生命理学専攻 <del>進</del> 学
2021年 3月25日	同 上 修 了 見 込

\* 2006年度(2007年)→23日、2011年度(2012年)→26日、2016年度(2017年)→27日、2017年度(2018年)→26日、2018年度(2019

2018年 4月 1日  
↓  
現在に至る

日本学術振興会特別研究員として、名古屋大学大学院理学研究科  
〇〇〇〇教授指導のもとに〇〇〇についての研究に従事

Your period of normal student in Nagoya univ is not included here.

TA, RA, and voluntary works are not included here.

2018年 4月～10月 非常勤講師(〇〇学校)

論文目録（記入例）

報告番号	※ 甲 第	号	氏 名	山 田 太 郎
主 論 文    Main Article				
Experimental Study of .....			Title	
(.....に関する実験的研究)			(Title in Japanese)	
副 論 文    Associate Article(s)				
題 目			2 冊	
1. Lectins in the hemolymph of japanese horseshoe crab, Tachypleus tridentatus				
T.Yamada, A. Shimizu, M. Ito and M. Nita				
Biochem. Acta, 500, 71～75 (2016)				
2. カブトガニレクチンの精製と性質				
山田 太郎、清水 暁、伊藤 みえ、 丹田 允				
シンポジウム「カブトガニの医学への貢献」記録、17～30 (2015)				
参 考 論 文    References				
題 目			1 冊	
Ribonuclease found in insoluble particle fraction from Azotobacter agilis (vinelandii)				
I. Shiio, K. Ishii, T. Yamada and S. Shimizu				
J. Biochem. , 59 , 363～369 (2015)				